

学校移行・環境移行を支援する ーキャリアカウンセリングの観点からー

5月14日（土）に平成28年度の「現代的学校教育の課題解決シリーズ2016」の学び合う仲間による教育研修リレー講座がスタートしました。5月28日（土）の第2回は、弊学教育学部学校教育臨床総合センター教育臨床心理部門の岩瀧大樹准教授により「学校移行・環境移行を支援するーキャリアカウンセリングの観点からー」が行われました。



<出席者の感想から>

- キャリアカウンセリングの観点から、学校移行・環境移行について大変勉強になりました。教員がどのような知識・技能・考え方をもって教育活動に取り組めば良いのか考える機会をいただきました。本日は大変ありがとうございました。
- 本日の研修を受け、これからのキャリア教育は児童生徒の生涯の人生設計を視野に入れて展開していくべきだと考えました。また、そのなかで学校移行というのは、教員が認識するよりも、児童生徒にとって大きなストレスがかかるライフイベントであるため、計画的に支援を行っていくことが必要だと考えました。さらに、その際には、児童生徒のプラス要因にはたらきかけたり、児童生徒が期待をもてるような支援をしたりすることが大事だと言うお話は、大変有益なものでした。
- とても簡潔な分かりやすい言葉でお話していただき、あっという間の90分でした。学校が直面している問題について、子どもの心理的な面から講義いただき、参考になりました。これを踏まえたうえで、学校側の課題にもアプローチしていきたいと考えています。
- 保育所・幼稚園・小学校・中学校・高等学校の開かれた連携と柔軟な接続を、私たち教員は責務ととらえていかなければならないと感じました。ありがとうございました。
- 学校に慣れるまでの時間は、教員も同じだと思いました。学校統合では、人間関係に慣れてくる頃から、生徒指導の問題が表面化してくることを体験しました。本日はありがとうございました。
- 学校移行・環境移行について、現職教員と問答を交えながら、現場をイメージすることができました。また、キャリアカウンセリングの観点からも、どのような支援が求められているのか、具体的方略を知ることができました。